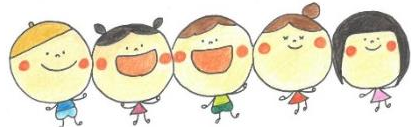




むぎのほ



かいかんだより

子ども家庭支援センター麦の穂

中津川市千旦林 1468-7 地域交流ホーム 麦の穂会館内

TEL 0573 (68) 6858 FAX 0573 (64) 8139

2021年7月

第256号



7月に入りました。去年は短かった夏休みですが、今年は例年通りのお休みになりそうですね。まだまだコロナの心配は続きますが、梅雨明けを待って、感染予防に気を付けながらも、夏ならではの体験を楽しみたいですね♪

「ちょっと一息・・・」

皆さん、こんにちは。支援センター最年長！2年目になりました心理士の横田です。

家事に育児に仕事にと・・・一息つく暇もないお父さん・お母さん毎日お疲れ様です。そんな忙しい生活の中だからこそ、少しでも

肩の力をぬいてみませんか？仕事帰りや、保育園のお迎えの前に5分間だけ車の中で、自分の好きな曲を聞いて、コンビニコーヒーを一杯。コンビニスイーツひと口。一人だけの空間では

いつもと違う時間がながれるものです。頑張っている皆さん、ぜひ一度お試しください。





子どもは子どもからほめられることで、愛されていると感じて生き抜く力となる

]

年長や年中児になると、給食の場面で当番が「用意はいいですか・手を合わせてください。眼を閉じてください」というと子どもたちは眼を閉じて手をそっと合わせる子どもたちになります。中には眼を閉じることが出来なくてそっと薄目を開けて周りを見たり、当番の方を見たりします。なかなかじっと眼を閉じることが出来なくて足をもぞもぞと動かしている子もいます。そのような眼を閉じることが出来ない子や出来る子がいるのが給食の保育場面です。

今までの教育では、ここで頭ごなしに先生が〈●●くん、眼が開いていますよ・静かにしなさい・フラフラしない〉という厳しい教育もありました。この先生からの厳しい言い方の影響よりも子ども同士の影響が子どもにとっては**心に響く**のではないのでしょうか。**当番の友達**がおかずとごはんが並んでいるテーブルに静かに座っている子に、「●●ちゃん、上手だよ。△△くん上手だよ。みんな上手だよ、眼を開けてください。手を合わせてください。さんはい・いただきます」と食べる時の約束の行為を**認めて褒めてくれる**ことで、静かに手を合わせて我慢して眼を閉じていると仲間の中で、自分が我慢して座っているのを見つけてくれる友達がいます。先生や親から文句やケチをつけられる事より、**仲間に褒められることで快い感覚に結びつくように子どもたちは育っていきます**。厳しく怒られることで嫌な気持ちになるとご飯もおかずもおいしく食べる雰囲気になりません。家庭でも肘がついているよ・おしりがもぞもぞしているよ・スプーン、箸の持ち方が下手だよ・テレビばかり見ているよ・ご飯が減っていないよと**悪いところばかりを言いすぎると子どもたちは食べたくありません**。嫌いなおかずでも口をちよつとつけるだけでいいよ・今日にはおいを嗅ぐだけでいいよ・ご飯の量を少なくして**食べられた喜びを与えられる配慮が求められます**。全部残さず最後まで食べなさいといいすぎないで最初は味に敏感、匂いに鋭い・一度にかむことが苦手な子どももいます。食事の前に子どもから褒められることで給食を**一緒に食べたくなる温かい愛のある雰囲気を作る**ことで苦手なおかずも最初は見ている、チョット口をつけるだけから友達のおいしく食べているモデルと楽しく食べる場から「先生見て」「●●ちゃん食べた見て」「●○君一緒に座って食べようね」といった食べたくなる雰囲気が出来、**友達と生きる意欲に結びつきます**。家庭でも食べさせようとする感覚から**食べられてよかったねという愛される雰囲気を味合わせてあげてください**。

幼い時の子どもは親の影響が多くありました。しかし、集団では子ども同士の温かい雰囲気の影響が与えられて困難に出会っても乗り切る力、自分から●●する自発性が身につけていきます。食べる時・約束を守る子どもたちの生きる力を信じて温かく見守っていききたいものです。

